



海の深さはどのくらいなの

海の平均の深さは3795メートル

海は、地球の全表面の約70パーセントをしめています。

海の表面積は、3億6105万平方キロメートルで、陸地面積の2.42倍の広さがあります。

地球上の海の平均の深さは、3795（およそ3800）メートルです。

日本は、海に囲まれた島国として知られています。日本を取り巻く海には太平洋と日本海がありますが、太平洋の平均の海の深さは、4282メートルです。太平洋の中でも、特に深いところには、マリアナ海溝（10920メートル）、フィリピン海溝（10057メートル）、トンガ海溝（10800メートル）などです。

海溝とは、海の底で、特に深くくぼみ、細長く続いているところをいいます。

日本海はそれほど深くなく、いちばん深いところが3796メートルで、平均の深さは、1350メートルです。北海道の北にあるオホーツク海は、さらに浅く、いちばん深いところが、3372メートルで、平均の深さは、わずか838メートルです。

日本列島の近くにも深いところがある

日本列島は南北に細長くのび、太平洋と日本海に面しています。日本列島の近くにも深いところがあります。それらは千島・カムチャツカ海溝（9550メートル）、日本海溝（8020メートル）、伊豆・小笠原海溝（9780メートル）などです。

（監修・保岡 孝之）

